宮城県農業・園芸総合研究所

日本梨「あきづき」の花芽着生向上技術

園芸栽培部　　果樹チーム　　TEL:383-8134

研究目的

「あきづき」は，９月下旬頃から収穫できる日本梨で，１個５００ｇ以上と大きく，食味が大変優れていますが，現在は店頭に並ぶことはほとんどなく，県内では直売などでしか手に入りません。

素晴らしい品質を持つ「あきづき」ですが，花芽の着生が不安定なため生産量が上がらないことが問題となっていました。

そこで，毎年安定した生産ができるよう，花芽の着生を向上させるせん定と枝の管理方法を開発しました。

研究の成果

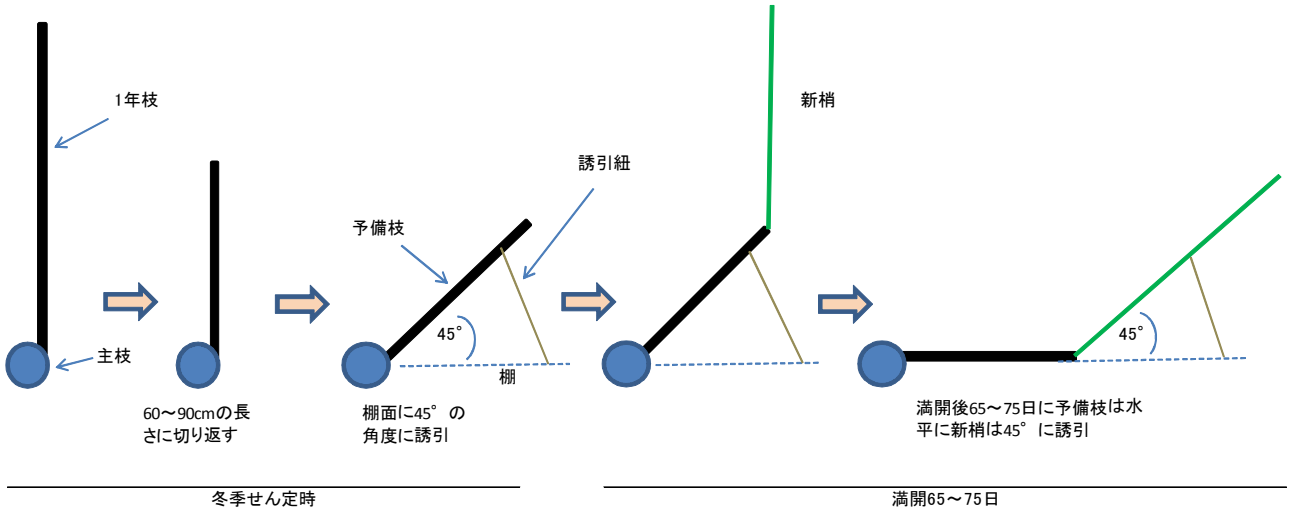
1）花芽の着生を向上させるせん定と枝の管理方法は以下のとおりです。

a　冬季せん定時に主枝から発生した1年枝を60～90cmの長さに切り返し予備枝とします（図－1）。

b　予備枝は，発芽前に棚面に対して45°の角度に誘引します（図-左）。

c　満開後65～75日に予備枝を棚面に対し水平に誘引し，さらにその先端から発生した1年枝を棚面に対し45°となるように誘引します（図-右）。

2）1年枝と予備枝を合わせた枝長1mあたりの花芽着生数は無処理の1.5～2倍になり，十分な花芽の数が得られます。



図－左　　図－右

普及の見込

県内の梨産地では，数年前から「あきづき」の導入が進んでいます。今回の研究によって安定した生産が可能になるため，より多くの県民の皆様においしい「あきづき」を味わっていただけるものと期待されます。

宮　城　県
農業・園芸総合研究所
宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1番地
TEL：022－383－8111（代表）　FAX：022－383－9907（代表）
ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/res_center/
E-mail：marc-fk@pref.miyagi.jp（代表）